

(解説)初めてでも簡単！BCP策定シートは、山形県内の中小企業、小規模事業者のBCPの取り組みの第一歩を後押し、分かりやすく簡単にBCPを策定いただく意図で作成しました。

1. 基本方針

大地震発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

- 1 店内のお客様・社員（含派遣・パート・アルバイト）の人命を守る
- 2 重要業務である飲食業務を継続する
- 3 地域社会に貢献する（避難所への出張サービスなど）

2. 被害想定

想定地震 ○○断層帯による地震、想定震度 震度6強

社会インフラの中断（電力・通信:3日間、交通・その他:2週間）、店（建物）半壊

※新耐震基準を満たしていない建物の場合は、全壊となる想定も必要です。

5. 対応手順（対策本部を立ち上げ、以下の手順で対応を実施します。）

直後から可能な限り速やかに

(1)大地震発生直後

①避難	
基準	建物の損壊、火災の発生、津波の危険
避難場所	屋外駐車場（津波の危険がある場合は津波避難経路を使って高台の○○公民館へ）
②救助・負傷者対応	
救助・応急処置道具の所在	1階厨房内の奥の棚
救急搬送先①	○○総合病院 (TEL： 123-4444)
救急搬送先②	○○第一病院 (TEL： 123-5555)

3. 対応責任者

統括責任者	全社的な意思決定を行い、対応全体を統括する。
店長（代行者）	フロアリーダー）
本社機能維持担当	安否確認や安全確保等、本社機能の維持に関する実務を指揮する。
店長（代行者）	フロアリーダー）
事業継続担当	重要事業の継続に関する実務を指揮する。
店長（代行者）	調理部門リーダー）

4. 重要業務、目標復旧時間

重要業務	飲食提供サービス
目標復旧時間	1週間

直後から24時間以内

(2)初動対応フェーズ

統括責任者	
本社機能維持担当	
＜メンバー＞	・店長 ・フロア部門リーダー ・調理部門リーダー

①状況確認	
確認対象	お客様のケガ等の状況
担当者（部門）	店長/フロア部門リーダー
従業員（含む家族）の安否	店長
建物・設備の状況	店長
飲食サービスに必要なテーブルイス等被害状況	フロア部門リーダー
調理に必要な厨房設備、電気・ガス・水道、冷蔵庫、食材の仕入れ先等の被害状況	調理部門リーダー

②帰宅許可	
基準	帰宅までのルートの安全が確認されており、自治体から帰宅抑制要請が出されていないこと
対象者	全員（帰宅ルートの安全が確認できない者は除く）
留意点	・帰宅時に水、食料を持たせる。 ・帰宅後、安否状況を報告させる

③ 備蓄品の状況

品名	数量	品名	数量
ヘルメット（お客様）	4個	ヘルメット（従業員）	4個
飲料水（お客様）	36リットル	飲料水（従業員）	36リットル
食料（お客様）	36食	食料（従業員）	36食
トイレットペーパー（お客様）	4個	トイレットペーパー（従業員）	4個
簡易トイレ（お客様）	12回分	簡易トイレ（従業員）	12回分
懐中電灯	4台	乾電池（単1）	30本
救急箱	1箱	救助用工具	1セット
携帯ラジオ	1台		
電池式ランタン	1台		

(3)事業継続フェーズ

統括責任者

事業継続
担当

<メンバー>

- ・店長
- ・フロア部門リーダー
- ・調理部門リーダー

①重要業務の継続

対応戦略

店舗を復旧させ、営業を再開する。

対応手順

情報収集

- ・お客様および店員の安否確認、負傷者対応
- ・店舗の建物・設備の被害状況確認
- ・危険があれば、店外へ避難、避難所へ誘導
- ・災害に関する情報、店舗周辺の被害の確認
- ・ライフライン、フロア、調理部門（厨房）の被害状況および店員の状況等から営業が継続できるかどうか検討

対応

- ・被害の程度により、営業を休止を指示
- ・復旧に向けた対応計画を検討、修理業者への手配を指示
- ・再開の目途が見えたら店員等に連絡を指示
- ・店舗再建の目途が立たない場合は、別の場所での再開も検討。

6. 資金調達

必要な資金	概要	予想資金（3ヵ月）
(A) 経営維持費用	従業員への給与の支払い	7,500 万円
	買掛金の支払い	500 万円
	金融機関からの借入金の返済	万円
	その他	500 万円
(B) 災害復旧費	被災建物・設備の復旧	15,000 万円
	その他	万円

調達可能な資金	概要	予想資金（3ヵ月）
(C) 利用可能な手元資金（現在の現預金）		6,000 万円
(D) 回収可能な売掛金		1,000 万円
(E) 公的機関の特例貸付	中小機構の特例災害時貸付を想定	2,000 万円
(F) 地震保険	○○損害保険会社の地震保険	最大15,000 万円
必要な資金	(A) + (B)	23,500 万円
調達可能な資金	(C) + (D) + (E) (F)	24,500 万円

7. 事前準備

(1)大地震発生直後	チェック	できていない場合
定期的、安否確認訓練とお客様の避難誘導手順の確認訓練の実施		20XX年XX月末までに対応する
救助・応急処置道具の整備		20XX年XX月末までに対応する
救急救命講習の受講・AED設置		20XX年XX月末までに対応する
避難ルートマップの作成		20XX年XX月末までに対応する

(2)初動対応フェーズ	チェック	できていない場合
「食材等仕入先連絡リスト」の更新	✓	までに対応する
備蓄品の整備		20XX年XX月末までに対応する
		20XX年XX月末までに対応する
		20XX年XX月末までに対応する

(3)事業継続フェーズ	チェック	できていない場合
各種融資制度、助成金制度等の確認		20XX年XX月末までに対応する
○○損害保険の地震保険を契約		20XX年XX月末までに対応する
長期にわたり休業せざるを得ない場合に備えて、別の場所で調理するデリバリーサービスの対応を準備		20XX年XX月末までに対応する
		までに対応する

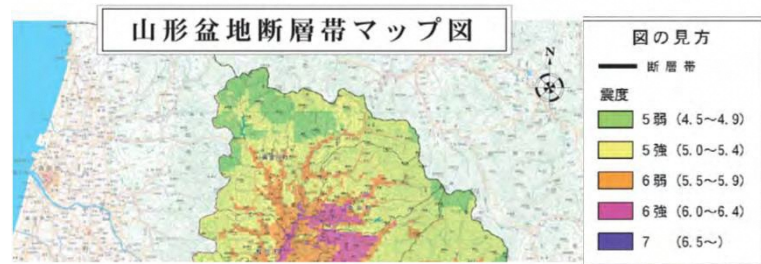
(解説)初めてでも簡単！ B C P策定シートは、山形県内の中小企業、小規模事業者のBCPの取り組みの第一歩を後押し、分かりやすく簡単にBCPを策定いただく意図で作成しました。

I. 本社・事業所の被害想定

No	種別	拠点名称	拠点住所	避難場所	地震ハザードマップでの震度(注1)	30年震度6弱以上の揺れに見舞われる確率(注2)
1	本社	〇〇本社	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 〇〇ビル〇階	〇〇小学校	6強	8.5%
2	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇4-5-6 〇〇ビル〇階	〇〇公園	6強	10.2%
3	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9 〇〇ビル〇階	〇〇公園	5弱	0.4%
4	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9 〇〇ビル〇階	〇〇公園	6強	9.2%
5	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9 〇〇ビル〇階	〇〇小学校	5強	5.4%
6	工場	〇〇工場	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 〇〇	〇〇小学校	6強	12.2%
7	工場	〇〇工場	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 〇〇	〇〇小学校	5強	6.5%

注1：地震ハザードマップから最大震度を調査する。

- 山形県内の地震ハザードマップにアクセスする。
<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180025/taisin/seismicmap.html>
- 山形県内において地震が予測されている「山形盆地断層帯」、「長井盆地西縁断層帯」及び「庄内平野東縁断層帯」の地震ハザードマップを確認し、各拠点の震度を上表に記載する。



注2：J-SHIS地震ハザードステーションから拠点が大きな地震動に見舞われる危険度を調査する。

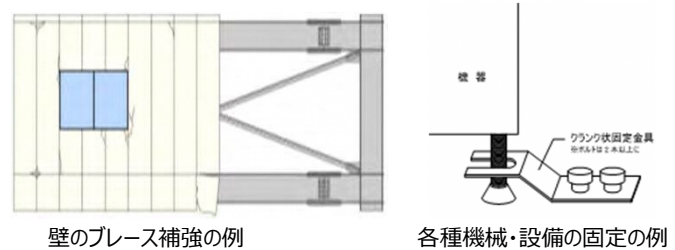
- 防災科研のJ-SHIS地震ハザードステーションにアクセスする。
<http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/>
- マップ上部のタブを「30年震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図」に変更、ページ左上の検索欄に各拠点の住所を入力し、「場所を検索」を選択する。
- 「検索結果」のウィンドウが表示されるので、拠点の住所をダブルクリック、地図上に表示される青点が拠点場所であることを確認し、青点をダブルクリックする。
- 「拠点情報 確率論的地震動予測地図」のウィンドウが表示されるので、「震度6弱以上となる確率」の数値を上表に記載する。各拠点について②から実施する。



II. 本社・事業所の耐震補強

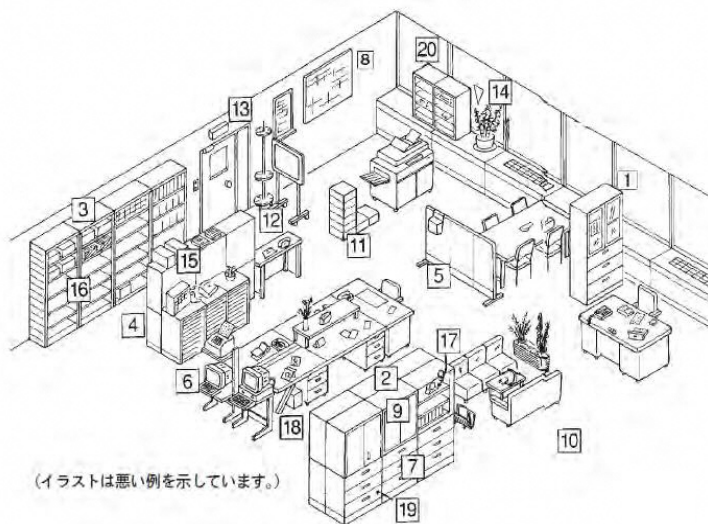
1. 基本的な耐震対策

- 建屋の堅牢性確保のための対策 (耐震診断～耐震対策)
* S56年の新耐震基準を満たしていること。そうでない場合は耐震補強工事が必要。
- ガラス飛散防止、オフィス什器備品・P C等転倒防止のための対策
- 各種機械・設備 (精密機器、自動倉庫、商品棚等) の固定化などの耐震強化対策



2. オフィスでの減災対策例

オフィス内の転倒・落下防止対策チェックリストを活用して確認する。



(イラストは悪い例を示しています。)

出典：家具類の転倒・落下防止対策ハンドブック (東京消防庁)

項目	チェック
1 背の高い家具を単独で置いていない。	
2 安定の悪い家具は、背合わせに連結している。	
3 壁面収納は、壁・床に固定している。	
4 二股重ね家具は、上下連結している。	
5 ローバーテーションは、転倒しにくい「コ」の字型「H型」のレイアウトにしている。	
6 O A 機器は、落下防止対策をしている。	
7 引出し、扉の開き防止対策をしている。	
8 時計、額縁、掲示板等は、落下しないように固定している。	
9 ガラスには、飛散防止フィルムを貼っている。	
10 床につまずきやすい障害物や凸凹はない。	
11 避難路に、物を置いていない。	
12 避難路に、倒れやすいものはない。	
13 避難出口は、見えやすい。	
14 非常用進入口に、障害物はない。	
15 家具類の天板上に、物を置いていない。	
16 収納物がはみ出したり、重心が高くなっていない。	
17 危険な収納物 (薬品、可燃物等) がない。	
18 デスクの下に、物を置いていない。	
19 引出し、扉は必ず閉めている。	
20 ガラス窓の前に、倒れやすいものを置いていない。	

III. 参考資料

- 山形県地域防災計画：山形県の防災に関する総合的な計画。
<https://www100.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/bousaijouhou/bousaikaigi/bousaikaikaku.html>
- こちら防災やまがた！：山形県の地震や大雨などの災害情報や防災情報が幅広く紹介
<https://www.pref.yamagata.jp/bosai/>